

令和2年度 事業計画書

令和2年4月1日から令和3年3月31日まで

特定非営利活動法人親子の未来を支える会

1 事業実施の方針

学校における高度な医療的ケアを担う看護師ネットワーク構築事業を継続する。さらに翌年以降継続できる事業にするため、看護師育成や他団体との連携を強化する。

胎児ホットライン事業を充実させ、妊娠中に胎児疾患が疑われた妊婦やその家族が頼ることのできる仕組みへ成長させる。

助成金や寄附金の獲得に力をいれ、組織体制の強化と各事業を成長させることで、すべての人が安心して豊かな社会生活ができるような社会作りを目指す。

2 特定非営利活動に係る事業

事業名	事業内容	実施予定日時	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数
(1)胎児診断・障がいに関する情報提供・情報収集事業	ホームページを充実させる。学会での講演やブース展示などを行い、啓蒙に務める。	通年	社会福祉法人や学校法人等に加え、インターネットを通じて行う	100名	一般市民、障がい者、障がい者家族、医療者、胎児医療に関わる医師、看護師等 100人/月
(2)障がいに関するカウンセリング事業	「胎児ホットライン」を開設し、妊娠葛藤に対して包括的に相談にのるプラットフォームを確立する。ピアサポーター研修を行い、ボランティア育成に力を入れる。ブックレットを作成する。	通年	インターネット上、電話相談、また適宜状況に応じて出張する	500名	一般市民、妊婦、これから生まれる子供たち、胎児医療に関わる医師、看護師等 50人/月
(3)胎児医療・障がい者医療に関するサポート事業	学校における高度な医療的ケアを担う看護師ネットワークを構築する。ケアガイドや動画を配信するウェブサイトを構築する。妊娠葛藤に関わる医療者を対象にした勉強会を開催する。	通年	インターネット上、電話相談、上越・長野における教育機関、東京・千葉	30名	一般市民、子育て中の家族、教育者等 50人/月